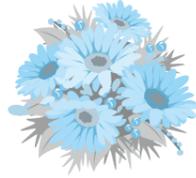


来年1月8日(日)は 平成29年成人式 へどうぞ



旧友との再会を喜ぶ新成人 (平成28年)

地区	会場	担当公民館の連絡先
平	アリオス	中央公民館 ☎22-5431
小名浜	パレスいわや	小名浜公民館 ☎54-1890
勿来	八幡台やまたまや	植田公民館 ☎63-3467
常磐	ホテルハワイアンズ・ラピータ	常磐公民館 ☎43-2305
内郷	クレールコート	内郷公民館 ☎26-2974
四倉	いわき海浜自然の家	四倉公民館 ☎32-2920
遠野	上遠野公民館	上遠野公民館 ☎89-2059
小川	草野心平記念文学館	小川公民館 ☎83-2168
好間	好間公民館	好間公民館 ☎36-2050
三和	三和ふれあい館	三和公民館 ☎86-2204
田人	田人ふれあい館	田人公民館 ☎69-2226
川前	川前公民館	川前公民館 ☎84-2003
久之浜・大久	久之浜・大久ふれあい館	久之浜公民館 ☎82-2165

来年の新成人に該当する方は、平成八年四月二日から平成九年四月一日の間に生まれた方です。当日は式典のほか、地区ごとに思い出に残る記念行事を開催します。

▼とき 来年1月8日(日) 11時30分～(受け付け開始は10時30分)、川前地区のみ11時～

▼ところ 市内13会場(左表参照)

○案内 本市に住民登録がある方は、

来年の新成人に該当する方は、平成八年四月二日から平成九年四月一日の間に生まれた方です。当日は式典のほか、地区ごとに思い出に残る記念行事を開催します。

▼とき 来年1月8日(日) 11時30分～(受け付け開始は10時30分)、川前地区のみ11時～

▼ところ 市内13会場(左表参照)

○案内 本市に住民登録がある方は、

市民のひろば ～地域が輝く!明るく 元気な いわき～

レポート②31

今月号は、田人地区の新たな特産品として自然薯を広めようと活動している「田人山薬研究会」会長の滝沢茂さんに、活動の内容や今後の目標などについて、インタビューした内容をお伝えします。



滝沢茂さん (田人山薬研究会会長)

Q 田人山薬研究会について教えてください。

A 田人山薬研究会は、田人の豊かな自然の中で生産する自然薯を、新たな特産品にしようと活動しています。もともと、一部の農家の方が生産していました。地区全体で自然薯の生産に取り組みたいと考え、立ち上げました。同会の名前は、自然薯が山の薬であることに由来しています。

Q どのような活動をしていますか。

A 主に、栽培技術の研究や販路の開拓などを行っています。田人の自然薯は形状が良いことはもちろん、粘りが強いことが特徴ですが、さらに高い品質を目指して栽培しています。年に一回開催する品評会では、会員が自慢の自然薯を出品し、形状や糖度、粘りなどの出来を競います。

また、現在は、地区全体で約八千本を栽培していますが、多くの方に味わっていただけるよう、生産量の増加にも力を入れています。他にも、地域の子どもたちに関心を持ってもらうため、田人小学校の児童に栽培を指導しています。

Q 活動を通して感じたことを教えてください。

A 最近市内だけでなく、市外、県外の方からも問い合わせをいただくことが多くなりました。さらに、栽培について教えてほしいという声もあり、自然薯が田人の特産品として広がってきていると感じています。また、土から掘り起こすまで成長具合が分からないので、収穫の際の児童たちの反応が楽しく、自然薯に



田人中学校の旧体育館跡地を利用した畑で小学生が植え付け作業を体験

Q 今後の目標などを教えてください。

A 自然薯を田人の特産品として確立し、地域活性化に貢献できるように、若い方などと一緒に活動してくれる会員を増やし、栽培技術などの研究を深めていきたいです。特に、貯蔵方法を工夫し、季節に関係なく楽しめるようにしたいと考えています。

また、主に個人での販売にとどまっているので、多くの方に興味を持ち味わっていただけるよう、販売所を設けられればと思います。

十一月十九日・二十日の田人ほっこり祭で、自然薯の販売や料理の提供をします。二十日には品評会も開催しますので、ぜひお越しください。



品評会では自然薯から切り取った先端部分をすりおろして粘りを測定

こんにちは市長室から ①9



原子力災害からの脱却

いわき市長 清水 敏 男

市では、平成25年度より原子力防災実動訓練を実施しています。これは、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故を経て、万一の原子力災害に備え、市民の皆さんや防災関係機関の協力の下、行っているものです。

原発事故は市民生活や地域経済に多大な影響を及ぼしており、事故に起因する課題の克服なくして、本市の真の復興はあり得ません。

国や東京電力(株)に対しては、県内全ての原

発の廃炉や汚染水対策、さらに、除染や事故に伴う損害賠償などについて、機会を捉えてその都度強く申し入れを行っています。

特に除染については、最優先課題として、平成23年度に子どもの生活環境(保育・教育施設、公園等)を先行して実施し、24年度以降は、市除染実施計画に基づき、北部4地区の住宅等除染を始め、本年度末までの市全体の完了に向け、現在作業を進めています。

また、懸案であった道路等の側溝堆積物の撤去については、市独自の事業として実施に踏み切ったところですが、これまでの本市の要望が受け入れられ、今般、国の財政支援を受けられることとなりました。

今後も、市民の皆さんの安全安心を確保するため、全力で取り組んでまいります。

10月1日に市制施行50周年を迎えました

10月1日に、アリオスで「いわき市市制施行50周年記念式典」を、いわき駅前周辺でいわきサンシャイン博メインイベント「いわき50祭～みんなでお101誕生日～」を開催し、市民の皆さんと一緒に節目の日をお祝いしました。



式辞を述べる清水市長



いわきの未来に向けたメッセージを発表



笑顔の写真を組み合わせたモザイクアート作品



合唱団と吹奏楽団が市歌を披露



市の振興発展への功績をたたえた特別表彰



八神純子さんが熱唱



ラトブに映るプロジェクションマッピング



フラステージを開催



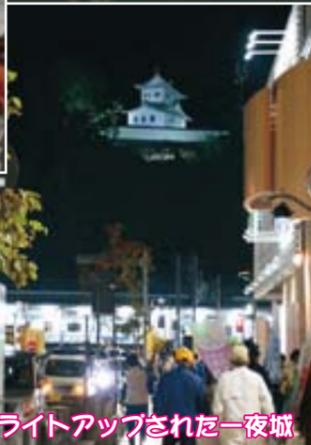
街ながにあふれる音楽



発車メロディーを「フラガール」に変更



照屋実穂さんとジェイク・シマプロクさんが競演



ライトアップされた一夜城



多くの市民の皆さんが来場



13地区ごとにブースを設けた物産店



カウアイ島の自然や美しい景色を望む観光名所のキラウエア灯台

交流の経緯

本市とは、フラをはじめ

カウアイ郡の概要
カウアイ郡の人口は約七万二千人で、郡庁のあるカウアイ島は、ハワイ諸島の最北端に位置しています。同諸島で最も歴史が古く、四番目に大きな島で、中央にそびえる山、渓谷、熱帯雨林、滝など、自然が豊かなことから「庭園の島」と呼ばれています。

国際姉妹都市を宣言

本年は、震災からの集中復興期間が終了し、復興・創生期間へと踏み出す年であり、姉妹都市関係樹立の合意から五周年かつ市制施行五十周年の節目の年であることから、国際姉妹都市を宣言しました。
九月三十日には「いわき市・カウアイ郡国際姉妹都市宣言記念セレモニー」を

とする民族舞踊を通じた文化交流や、マラソン大会への選手の相互派遣など、さまざまな交流を行ってきました。
官民にわたり友好関係を築いてきたことから、平成二十三年九月に姉妹都市関係樹立に合意し、同郡において調印式を執り行いました。
合意後も、観光や文化、スポーツの分野で交流を行い、絆を深めてきました。



国際姉妹都市宣言書へ署名

お問い合わせ
観光交流課都市交流係
☎22-1279

いわきサンシャイン博秋冬編のパンフレットを配布

観光事業課観光事業係 ☎22-7477
市全域を博覧会会場として、観光施設や地域のイベントなどを組み合わせて魅力的なプログラムを構築し、市内外へ本市の魅力を発信する、いわきサンシャイン博を開催しています。

今回、秋冬編のパンフレットを作成し、各支所や石炭・化石館「ほるる」、いわき・ら・ら・ミュウなどで配布していますので、ぜひご活用ください。



13地区ごとに情報が満載

緑のカーテンコンクール受賞作品を決定

環境企画課環境企画係 ☎22-7528

地球温暖化対策や省エネルギー対策を推進し、日よけや夏季の節電などの効果がある「緑のカーテン」の普及を図るため、同コンクールを実施しています。

本年度は、常磐開発株式会社・常光サービス株式会社・トーホク装美株式会社指定管理業務共同企業体の作品が、大賞を受賞しました。



同企業体が管理する小名浜市民会館に作られたアサガオを利用した緑のカーテン

国際姉妹都市

ハワイ州カウアイ郡を知ろう